

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	東京都福祉のまちづくり条例に基づく届出の受理等に関する事務				
担当部署・課長名	都市計画	課	地域整備	係	課長名 神山 尚

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 6	-
【施策名】 地域福祉の推進		総合計画書 (ページ)	65	

予算名	款 8 土木費	項 3 都市計画費	目 1 都市計画総務費	事業 3 都市計画事務費
-----	---------	-----------	-------------	--------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東京都福祉のまちづくり条例の対象施設	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 届出書の件数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 高齢者や障害者を含めたすべての人が、安全、安心、快適に暮らし、訪れることができるまちづくりを進めるために、整備基準(遵守基準)への適合を求める。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 整備基準(遵守基準)の適合件数/届出書の件数
	③ そのために何をしましたか。 施設整備について事業者と協議をした。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 整備基準(遵守基準)の適合件数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	件	8	5	2		
	成果指標	②の数値	%	100	100	100		
	目 標	②の目標値	%				100	100
		目標値設定の考え方	対象施設のすべてが整備基準(遵守基準)に適合するよう求める。					
	活動指標	③の数値	件	8	5	2		

3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	0	0	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.3	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	3,306,800	3,301,200	2,473,200		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	3,306,800	3,301,200	2,473,200		

この仕事における市の裁量	市の裁量は無い
--------------	---------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 ユニバーサルデザインを基本理念とし、高齢者や障害者を含めたすべての人が、安全、安心、快適に暮らし、訪れることができるまちづくりを進めることを目的に平成7年4月に東京都福祉のまちづくり条例が制定された。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし。

仕 事 の 内 容	東京都福祉のまちづくり条例に基づく届出の受理等に関する事務			
担当部署・課長名	都市計画	課	地域整備	係 課長名 神山 尚

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	特になし。		

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		
特になし。			

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 福祉のまちづくり条例は、ユニバーサルデザインを基本理念とし、福祉の視点からまちづくりを進めるためのものである。しかし、条例の事務手続き上、福祉部署が関与する機会がない。 また、福祉のまちづくり条例の対象施設は、建物、道路、公園など広範囲に及ぶことから庁内、市民及び事業主に広くPRすることも必要である。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。		
	届出等の際には引き続き福祉部門への情報提供を行うとともに、各種会議・説明会等について情報共有した。		
(3)(2)を踏まえた今後の課題			
引き続き福祉部門との連携を図るとともに、市の公共施設等の建設、改修等の際にユニバーサルデザインの視点を生かしていくことが求められる。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 機会を捉えて施設管理部門や施設建設部門と適宜情報共有を図る。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 事務の適切な執行のみならず、引き続き各部門との情報共有を図る。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------